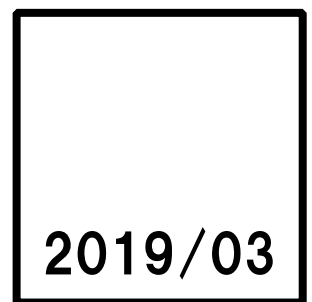




神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。



今年もプロ野球は春季キャンプ・オープン戦を経て、待ちに待ったシーズン開幕まであとわずか。今回の社楽はそんな野球ファンのみなさんにおすすめの社史をご紹介します。

『株式会社東京ドーム75年史』(2012年刊)

今やドーム球場は各地域に定着し、多くのプロ野球チームが本拠地として使用しています。日本で最初のドーム球場といえば1988年完成した読売ジャイアンツの本拠地、東京ドームです。東京ドーム開業時にどんなイベントが行なわれたか、

当時の様子も掲載されています。

また、前身の株式会社後楽園スタジアム刊行の『後楽園の25年』(1963年刊)や『後楽園スタジアム50年史』(1990年刊)からは後楽園球場の歴史はもちろんです。プロ野球の歴史を読み取ることができます。

『ありがとう、川崎球場 川崎球場史1952〜2000』(2001年刊)

移転前の当館の近くにあった川崎球場(現富士通スタジアム川崎)の歴史が描かれています。古くからのファンであれば大洋ホエールズ(現横浜DeNAベイスター

ズ)やロッテオリオンズ(現千葉ロッテマリーンズ)の本拠地だったことはご存知かと思えます。プロ野球以外にも高校野球や都市対抗野球など、50年近い歴史の中で起こった様々な出来事が記されています。2000年の閉鎖の際に行われたイベントなども記載され、まさに川崎球場の歴史が詰まった社史です。

『中日スタジアム二十年』(1968年刊)

1997年3月にナゴヤドームがオープンするまで中日ドラゴンズが本拠地と

(裏面へ続く)

球春到来! 球場の歴史をよむ

(表面から続く)

していた球場。1948年にわずか2カ月弱で木造の仮設球場を完成させ、試合を行なったという驚きの記録が記されています。1951年に発生し、死傷者を出した試合中の火災や、そこからの再建など戦後間もない時期からの球場の歴史が納められた一冊です。

● 『大阪スタジアム興業株式会社三十年の歩み』(1980年刊)

主に南海ホークス(現福岡ソフトバンクホークス)が本拠地としていた球場です。本書には「座談会」や「随想」が掲載されています。関係者の方々のそれぞれの思いや情熱があふれていると感じました。他にも当館では『大阪スタジアム株式会社開業20周年記念 年輪』(1970年刊)や『開場40周年記念大阪球場写真集』(1990年刊)を所蔵しています。

● 今号は野球場に焦点を当てて社史をご紹介しました。各社史を読んで、球場を運営する会社は野球場のみならず他の多くの娯楽施設の運営も行っていたのだということに気づかされました。また、プロ野球は誕生から今日に至るまで実に多くのファンを魅了し、楽しませてくれているのだと再認識しました。みなさんもこれから始まるペナントレースの熱戦を楽しむとともに、当館の社史を手にとっていただけると幸いです。

(企画情報課 今井)

バーチャル「社史室」リニューアルのお知らせ

社史コレクションの書架の写真による、バーチャル「社史室」をリニューアルいたしました。公開されている社史はもちろん、書庫に収められている社史の様子も覗くことができますので、機会があればぜひご覧ください。



Twitter「社史フェア・神奈川県立川崎図書館社史情報」開設

社史フェアおよび社史関連情報について紹介する神奈川県立川崎図書館の公式アカウントを3月より開設しました。今後のさらなる発信にご期待ください。

<https://twitter.com/kanagawa484>

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 企画情報課

213-0012 川崎市高津区坂戸 3-2-1 かながわサイエンスパーク 西棟 2F

電話：044-299-7826 FAX：044-322-8878

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>